

第2次千葉市文化芸術振興計画 2次評価シート

基本施策名	基本施策1_文化芸術に親しむ市民の裾野を「広げる」			
	(1)多様な文化芸術イベントの開催			
事業名	美術館展示「千葉市美術館コレクション名品選2020」（常設展）			
実施主体	指定管理者	(名称) 公益財団法人千葉市教育振興財団		
市との関わり	その他	企画提案業務	指定管理者	
市担当課	市民局生活文化スポーツ部文化振興課		(連絡先) 245-5961	(内)90-25

【評価指標】

1 基本施策との適合（目的設定の妥当性、目的の達成度、他の基本施策への波及）	
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等	
2 戦略的な視点・基本姿勢との適合（市民主体、こども・若者、領域の広がり）	
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等	
3 事業のねらい（設定の妥当性、達成に向けてのアプローチ）	
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等	
4 市民との関わり（満足度、周知度）	
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等	
5 効果（活動の活性化、費用対効果、その他の効果）	
2次評価は実施主体の自己評価内容と同等	

【提 言】 ※評価指標毎の評価結果を踏まえ、「今後の方向性」を選択

今後の方向性	☒ A：継続 ☐ B：改善 ☐ C：見直し
※「今後の方向性」の選択結果を踏まえ、今後の事業実施に向けてのご意見・アドバイス等を記載 常設展のみの観覧者が少ない、または特別展の中の常設展料金として取っている部分でペイができるのであれば、将来的に市民の利益として、博物館法の無料公開という原則の根拠になるので、常設展の入場者数については引き続き分析を継続すること。	